

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 2月 7日

公表:令和 6年 3月 4日

事業所名 チャイルドウイッシュちりゅう

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2		週間予定を作成し、業務の効率化を図っている。、また視覚的に確認できるように掲示を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1	保護者への評価表の実施を図っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2	毎年ホームページ上に掲載をしている。	おたより等での公表については、検討していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5		外部評価は実施していないが、今後実施していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		定期的な研修の機会はありスキルアップをしている	引き続き研修受講をすることで質のスキルアップを目指し、よりよい療育を提供できるように務める。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		アセスメントを実施し、その時の状況を把握しサービス計画に反映している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	2		楽しく、かつ療育に特化したイベントを引き続き提供できるように、スタッフ間でも話し合いを進めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3	長期休みはイベントを企画したりと工夫をしていると感じたため	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎日ミーティングを行い振り返りや分担などの確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	6	支援終了後に基本的にはミーティングは行っていないが、必要に応じて周知出来る体制はある	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		定期的に対面にてのモニタリングの実施、見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	2			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		児童の学校での様子や体調の変化があったかなど、送迎時に情報を共有している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	5		現状ないが、必要に応じて実施していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	センターによる研修への申し込みを行い、専門家の意見を頂く機会を設けている。	引き続き、連携を図りスキルアップを目指す。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	7		現状では交流する場がないので、機会があれば一緒に活動も視野にいれていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	7		機会はないが、課題があれば提供したいと思う
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	3	家庭連携を定期的実施し、連携を図っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	6		コロナ化で行うことを見合わせていたママ会の開催を進めていく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		契約時に話をし伝えている。事業所内掲示にていつでも閲覧できるようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		送迎時、家庭連携にて対応をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		コロナ化で行うことを見合わせていたママ会の開催を進めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		苦情解決のシステムがあり、迅速に対応するとともに周知の徹底をするようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		定期的に通信、専門的なおたよりの発行をし、発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	9		児童や保護者の情報は第三者の目に触れないよう厳重に保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		言葉での伝達に加えビジュアルアエドを用いて意思疎通を図っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		各種マニュアルの整備をしている。文書にて保護者へ周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年2回避難訓練(通報訓練含む)を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		年に1回研修に参加することを義務化している	引き続き、研修受講、委員会開催をすることで適切な対応、確認をしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9			定期的な委員会の開催を行うことで決定、周知していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		契約時にアレルギーについて保護者に確認し、その都度適切に対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		